

# 夢洲関連開発はやめ 市民の命と暮らしに

## 大阪市議会 建設港湾委員会 井上浩議員が質問



質問する井上氏 20  
日、大阪市議会建設港  
湾委員会

了、整備中の北港テクノ  
ポート線（コスモスクエ  
ア駅―夢洲新駅間）は5  
73億円（今年度当初予  
算42億800万円）、夢  
洲と夢洲地区の幹線道路  
は49億円（同19億520  
0万円）などとなってい  
ます。

井上氏は「事業費  
は」さらに上振れする。  
バブル期の大型開発の焼  
き直しであり、いつか来  
た道（巨大開発の失敗）  
を進むのは、やめるべ  
き」と力説。「夢洲は、  
廃棄物の最終処分所や物  
流拠点、再生可能エネル  
ギーの拠点という当初の  
目的通りに使うべき」と  
主張しました。

迫りました。  
井上氏が事業費を確認  
したのに対し大阪港湾局  
は、今年度当初時点の全  
体事業費は1112億円  
で、うち今年度当初予算  
は154億8600万円  
と答弁。各事業の事業費  
は、夢洲地区の中央部の  
土地造成が95億円で完  
成する見込みです。また、  
港湾地区の整備も、今年  
度当初予算42億800万  
円、夢洲地区の幹線道路  
は49億円（同19億520  
0万円）などとなってい  
ます。

20日の大阪市議会建設  
港湾委員会で日本共産党  
の井上浩議員は、大阪湾  
の廃物最終処分場である

夢洲関連の巨大開発に巨  
額の税金が投入されてい  
ることを明らかにし、  
「市民の命と暮らしにこ  
そ、お金を使うべき」と

井上氏は、来年改定さ  
れる市の「緑の基本計  
画」についても質問。改  
定に当たっては、緑を増  
やす具体的な目標を持  
ち、樹木伐採を巡るこれ  
までの市議会の議論も踏  
まえ、積極的に市民の意  
見を聞いて計画に反映す  
るよう求めました。